

# 市政に対する一般質問一覧表

令和4年第3回定例会

質問順位 1

議席番号 2番

氏名 久保田 隆 二

質問方式 一問一答 質問時間 10分

質問事件	質問の要旨
行政問題	<p>1. 地域活性化起業人制度の活用について</p> <p>当市は人口約3万8千人の小都市であり、市内のリソースが限られる中で、多くの課題を解決することが求められます。地域活性化起業人制度を活用し、民間の専門人材を受け入れることで、外部のアイデアや知見等を取り入れることができると考えますが、当市における当該制度の活用について、次の2点伺います。</p> <p>(1) これまでの外部人材の活用実績について</p> <p>(2) 地域活性化起業人制度活用のメリット・デメリットについて</p> <p>2. 市職員と外部人材の連携について</p> <p>高度化する社会の中で、市職員だけでは解決できない領域について、外部人材と上手く連携し、多くの課題を解決することが求められます。</p> <p>その為、外部人材活用の研修やノウハウ構築などが必要と考えますが、当市のご見解を伺います。</p>

質問方式 一問一答 質問時間 5分

質問事件	質問の要旨
行政問題	<p>空き家対策について</p> <p>当市においては、令和2年3月に「三沢市空き家等対策計画」を策定し、空き家等の実態調査を行うとともに、危険な空き家等の抑制及び解消を目指すなどの方針を示しています。今後、空き家問題は、ますます深刻化するものと考えことから、以下の点について伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 当市における空き家等の実態について</li><li>(2) 現在の取り組み状況について</li></ul>

質問方式 一問一答 質問時間 20分

質問事件	質問の要旨
行政問題	<p>1. コロナウイルス感染症対策について</p> <p>(1) オミクロン株BA. 5の感染者が急増しているなか、土日祝日における発熱外来の開設が望まれている。土日祝日に休業している三沢病院の発熱外来のプレハブ施設を活用し、三沢地区医師会から協力していただき、青森市医師会が行っている臨時発熱外来の開設に倣うべきと考える。当市の見解を伺う。</p> <p>(2) コロナ感染者の「全数把握」の見直しなど、国によるコロナ対応が混乱を招いている。国・県の動向を見極めながら、感染症対策のマニュアルについてきめ細かな情報提供・対応が求められている。当市の対応について伺う。</p> <p>2. 大学生への経済的支援策について</p> <p>様々な生活必需品の値上げにより、大学生の生活が経済的に追い詰められている。物価高騰対策における国の地方創生臨時交付金を活用し、支援金を支給すべきと思う。当市の見解を伺う。</p> <p>3. 基地問題について</p> <p>(1) 米軍三沢基地における有機フッ素化合物流出事案について、基地内でのPFOSの調査報告・管理状況等の公表や代替品への早期交換を求めるべきと考える。当市の見解を伺う。</p> <p>(2) CV-22オスプレイの飛行停止問題をうけ、小川原湖における当該機の訓練域拡大の撤回と今後の訓練中止を求めるべきと考える。当市の対応を伺う。</p>
教育問題	<p>1. 学校給食費の無償化について</p> <p>青森市は10月から小中学校の給食費無償化を実施するとしている。おいらせ町・東北町・七戸町・横浜町でも実施している。当市も実施すべきと思う。見解を伺う。</p> <p>2. 就学援助制度（準要保護）の入学準備金について</p> <p>(1) 上十三で最下位の入学準備金の引き上げを求める。当市の見解を伺う。</p> <p>(2) 修学旅行費について、現物給付すべきと考える。当市の見解を伺う。</p>

質問方式 一問一答 質問時間 10分

質問事件	質問の要旨
道路問題	<p>旧一方通行について</p> <p>商工会や商店街からの長年にわたる要望があり、中心市街地の一方通行道路が解除されました。これまでは、幅員が足りないことから双方向通行が難しいとのことで、実現できなかったものと理解していますが、念願が叶い、双方向通行となったことは喜ばしいことでもあります。</p> <p>しかしながら、双方向通行となったことによる弊害として、右折レーンがなく朝夕の渋滞が懸念され、幅員が狭いことから歩行者を巻き込んだ事故の危険性が高まるなどのリスクもあるのでないかと思えます。</p> <p>次の点についてお伺いします。</p> <p>(1) 一方通行解除後の交通量がどう変化したのか伺います。</p> <p>(2) 一方通行が解除されてから、右折を原因とした渋滞が発生していないか伺います。</p> <p>(3) 冬期間はさらに幅員が狭くなると思われませんが、歩行者が事故に巻き込まれないための対策を考えているのか伺います。</p>
ふるさと納税	<p>ふるさと納税の状況について</p> <p>平成20年4月に地方税法等の改正により、ふるさと納税制度が始まり十数年が経過いたしました。この間、各自治体では、自主財源確保のため、創意工夫を凝らし地元のPRとともにさまざまな返礼品を考案してまいりました。その結果、市町村別の寄附額ランキングで令和2年度1位の宮崎県都城市は、135億円を超える寄附額となっております。</p> <p>当市のふるさと納税に対する次の点についてお伺いします。</p> <p>(1) 当市のふるさと納税額の推移について伺います。</p> <p>(2) 返礼品の考案について、どのように検討し実現しているのか伺います。</p> <p>(3) 企業版ふるさと納税に対する取り組みについて伺います。</p>

質問方式 一問一答 質問時間 10分

質問事件	質問の要旨
教育問題	<p>1. 就学援助制度における準要保護児童生徒への新入学学用品費支給額について</p> <p>三沢市の準要保護児童生徒保護者の経費負担軽減のための、新入学児童生徒学用品費等の支給金額を今後見直す考えはないかお答え願います。</p> <p>2. 市内小中学校における医療的ケア児への支援体制について</p> <p>令和3年6月に「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が公布され、「医療的ケア児」への適切な支援が求められている。</p> <p>そこで、次の2点についてお答え願います。</p> <p>(1) 当市の小中学校における医療的ケアを必要とする児童生徒の現状について</p> <p>(2) 当市の小中学校における医療的ケア児に対する教育委員会の支援体制について</p>

質問方式 一問一答 質問時間 15分

質問事件	質問の要旨
環境問題	<p>1. 三沢公園の貴重な自然生態系を将来世代に引き継いでいくための取り組みについて</p> <p>今般、市民の安心・安全確保のため、公園内の上久保児童センター付近のアカマツなど数十本が伐採されました。三沢公園は都市部にありながら広葉樹林に針葉樹が程よく混交しており、多種多様な野生生物が観察される公園で、上久保小学校のふるさと発見クラブの活動の場として、また、三沢市公園緑化公社がホタル観賞会を開催するなど、市民の憩いの場として活用されています。</p> <p>この貴重な自然生態系を将来世代に引き継いでいくことが、今を生きる私たちの使命であることから、「湧水の保全管理を第一に考えた伐採跡地の植栽計画・施工」、「緑化・植栽の地域生態系などへの配慮」、「地域住民や学識経験者とのより良い情報共有・連携体制の構築」について、本市のご見解を伺います。</p> <p>2. ごみ減量化への取り組みについて</p> <p>第4次青森県循環型社会形成推進計画では、令和7年度における1人1日当たりのごみ排出量を940g、また、リサイクル率については、行政回収分で17%の目標が掲げられ、当市は、一般廃棄物処理基本計画において、1人1日当たりのごみ排出量を、令和5年度974g、リサイクル率25%の目標を掲げています。</p> <p>また、政府は、今年度から、家庭から出るプラスチックごみを一括して回収する経費の一部を地方交付税で手当てすることとしました。これは、海洋汚染の一因になっているとの指摘等を踏まえ、プラスチックごみのリサイクルや削減、地球温暖化対策の推進を目的とした新法「プラスチック資源循環促進法」の2022年4月施行に合わせ、回収業務を担う市区町村の財政負担を減らし、一括回収に乗り出してもらう狙いがあるということであります。</p> <p>そこで、当市におけるごみ減量化への取り組みについて2点伺います。</p> <p>(1) ごみ減量化とリサイクル率向上に向けた取り組み状況について</p> <p>(2) プラスチックごみの一括回収の実施について</p>



質問方式 一問一答 質問時間 10分

質問事件	質問の要旨
行政問題	<p>電力インフラ整備について</p> <p>石油・ガス等燃料をはじめとし物価が高騰するなか、脱炭素について検討が必要とされておりますが次の3点について伺います。</p> <p>(1) 石油・ガス等の燃料が高騰し電力需要が見込まれていく中で、電力インフラの整備に取り組む考えがないか伺います。</p> <p>(2) 燃料関係業者等による電気スタンド設置等の支援をする考えがないか伺います。</p> <p>(3) 電気自動車の購入支援等をしていく考えがないか伺います。</p>

質問方式 一問一答 質問時間 20分

質問事件	質問の要旨
<p>行政問題</p>	<p>1. パートナーシップ制度の導入について                      パートナーシップ制度は自治体が独自にLGBTQカップルに対して「結婚に相当する関係」とする証明書を発行し、さまざまなサービスや社会的配慮を受けやすくする制度です。多様性を認め合う社会を構築するため、本市においても導入すべきと考えご見解をお伺いします。</p> <p>2. まごころベンチの設置事業について                      埼玉県八潮市や神奈川県川崎市では、個人や団体、企業などからベンチの寄付を受ける事業を行っています。これまで市民の皆さまから、街なかやバス停などへベンチの設置を願う声が届いており、まごころベンチを設置する事業の導入について、本市のご見解をお伺いします。</p> <p>3. 公共施設の水道蛇口の自動水栓化について                      新型コロナウイルス感染対策として、こまめに手洗いをする機会が増えてきました。自動水栓ではない蛇口は、手を洗った後にレバーやハンドルに触れることになり手洗いの効果が懸念されます。長引くコロナ禍で感染症対策を強化するためにも、水道蛇口を自動水栓化すべきと考え、本市のご見解をお伺いします。</p> <p>4. 給水スポット（ウォーターサーバー）の設置について                      脱炭素社会を実現する上で、プラスチックごみの削減は大きな柱のひとつです。ウォーターサーバーは水道直結型で電源がいらず、マイボトルでいつでも水を飲むことができるものです。プラスチックと二酸化炭素削減へ向け、マイボトルの携帯を促す給水スポットの設置について、本市のご見解をお伺いします。</p> <p>5. 不妊治療への自己負担軽減のため、助成制度の導入について                      不妊治療の公的医療保険の対象が、本年4月より大幅に拡大されました。ただこれまであった県の助成制度が終了したため、自己負担が増えるケースがあるといわれています。弘前市、平川市では本年度、自己負担軽減の助成制度を独自に実施するとのことであり、本市においても支援を望む声が届いています。                      助成制度の導入について、ご見解をお伺いします。</p> <p>6. 男性トイレへのサンタリーボックス設置について                      前立腺がんやぼうこうがんを患った男性が、使用済みの尿漏れパッドなどを捨てる場所に困るケースが生じているといわれています。本市においてはすでに、市役所庁舎のトイレ内にサンタリーボックスを設置していただしていますが、その他の公共施設にも設置すべきと考えますことから、ご見解をお伺いします。</p>